

補導員会だより

館林市青少年センター補導員会 編集・発行



第26号
令和元年9月13日発行
館林市青少年センター
☎ 73-4114

私たち「館林市青少年補導員」は、小中高等学校の教員、PTA 役員、地域・関係団体の役員、知識経験者など100名からなり、毎月22班で様々な時間帯に定例パトロールをしています。

本年度は、特に子どもが不審者に遭遇しやすい午後のパトロール班を増やしました。活動を通じて、青少年や地域社会に安全確保の意識が高まることを願っています。

補導員会長 常世田 正憲



補導員会活動報告！

①「定例巡回パトロール」

毎月第1～第4週の月～金曜日に、青色防犯回転灯を点灯させた補導車で市内を巡回しています。今年度は児童下校時のパトロールを増やしました。学校や通学路、店舗、公園、駅等を巡回し、必要があれば下車して声かけや現状確認しています。

②7月「市内小学校区下校時安全パトロール」

通学路や学校周辺の安全点検、確認しました。子ども達への下校指導も行いました。



③7月「館林まつり街頭パレード」参加！

「子ども相談室」の案内を入れた鉛筆と消しゴムのセットを沿道の来場者に配りながら、歩きました。また、交流のある「足利市少年補導員」の皆さんと合同パトロールを行いました。



④8月「健全育成協力店等巡回パトロール」

市内ゲームセンター等15店舗を訪問し、青少年の様子について情報交換しました。



⑤7、8月「小学校区特別パトロール」

夏の青少年健全育成運動に連動し市内の11小学校区ごとに行います。どの小学校区でも、子どもの姿を見かけることは年々少なくなっています。

館林まつりパレードの様子



・・・裏面もご覧ください！

梅雨明け早々猛暑到来。今年は梅雨が長く、冷夏を思わせる日々が続き、日照時間が短く農作物に悪影響がでるのではと懸念された。平成5年に、梅雨前線が日本列島に停滞し、低温が続き、「米騒動」といわれる米不足になったことがあった。ところが、今年は、梅雨が明けると猛暑日の到来。30度を超す日が毎日のようで、日中は外での仕事は要注意。熱中症対策だ。今朝も太陽がサンサンと照りつけ、朝食をとって一服していると、町内広報のスピーカーから「今日の小学校の水泳教室は中止にします。」という内容であった。

一瞬、耳を疑った。「今日は晴れだね。」子どもたちの登下校中のことを考えての配慮だと思った。この猛暑、いつまで続くのだろう。

暑いけれど元気にはしていますか？と友人からのメール。そう言えば、もう3か月近くになるご無沙汰でした。どうしているかなと思いつつ無精にしていた自分に反省。思い立ったら吉日と自分に言い聞かせてはいるのに。「先は急ぐな、結論はじっくり、ゆっくり」の性格が出てしまっていました。

人とのふれ合いを大切にしたいのなら、待つことも大事。でも、思い切った時は実行ですね。友人との語らいは楽しく嬉しいものです。すすんでコンタクトを取ろうと思った時でした。

東日本大震災により不通になっていた三陸鉄道リアス線が、今年の三月末に開業したというので行ってきました。久慈駅(岩手県久慈市)と盛駅(岩手県大船渡市)を結ぶ163kmを4時間半で行く旅でした。

海岸側は津波を防ぐ防波堤が高く造られ、リアス式海岸の良さも見られない。内側は、新しく土砂を盛り造られた住宅が建ち並び、きっとここは多くの人々が住んでいたのではないかと思われる所の空き地が目につきました。

あれから八年経過したとは言え、現地の復興はまだまだ進行していないことを実感しました。現地の方々の当たり前の生活が早く戻りますよう遠方から応援したいと痛感しました。

先日、美容室で読んだ週刊誌の中に、ある医者のお話で「以前は自閉症的な子は、1,000～2,000人に一人だったのが、今では15人に一人ほどいる。これは、スマホが普及したからではないか、半年から1歳半とコミュニケーションが育つ時期にママがスマホを見ながら授乳したり、子どもをテレビに預けて自分はスマホをしている。このことが、問題ではないか、なぜなら、スマホが流通していない国には自閉症的な子は増えていないのだから」との内容だった。

この話を読み、子育てしている親たちに考えてもらいたい、という老婆心がふつつつとわき出てくる思いだった。

ひとりで悩まずに まず相談 ～子ども相談室～

保護者の方からの相談もお待ちしています！

○電話相談：月曜日～金曜日

午前9時～正午 午後1時～5時

☎：0276-73-4152

(子ども相談室QRコード)

○来所相談：事前に電話で予約してください。

場所：子ども相談室(館林市民センター4階)

○メール相談：件名に「子ども相談室」と書き、本文に相談内容を書いて送信してください。



困っている事、悩み事、
友だちのこと、学校や家庭のこと
話せば心がホッとするよ☆

E-mail: seishonen@city.tatebayashi.gunma.jp